

# 遠藤 潤 (えんどう じゅん)

- 【キャッチコピー】 ゼロから起業、そのストーリーに秘密がある。
- 【費用】 相談1回(1時間) 3万円 ※起業家特典の場合は5千円  
講演1時間 5万円～ ※趣旨に共感する場合は無料でもお引き受けいたします。
- 【資格・専門分野など】
- ・ 起業家支援 (机上論ではありません。すべて経験と実践を重宝。)
  - ・ 「社長塾！」 (経営者を主体とした経営の心得、経営実務の勉強会)
  - ・ 行政書士 (独立開業支援の実務指導も行います。)

【職歴】

三ツ星ベルト株式会社へ事務職として入社。起業を目指し2年後には退職。その年、行政書士事務所に見習いとして1年間勤務。21歳に「久保田行政書士事務所(旧姓)」開業。翌年22歳のときに「株式会社ベストラ이프」設立(営業代行、経営コンサルタント等)しかしわずか1年足らずで廃業。アルバイトや歩合制の営業マンを掛け持ちしながら借金返済の日々を送る。その後、建築系のベンチャー企業に入社。そこで出会った現在のパートナーと共に再び起業を目指す。最初は行政書士からスタートし、以前廃業した会社を26歳のときに「白扇株式会社」と改称して再度興す。両親から7坪の店舗倉庫を無償で借り受け、水道光熱費まで面倒見てもらいながら、なんとか少しずつ家賃を納められるようになる。再起ということもあり、マイナスからのスタートでした。この頃の経験からレンタルオフィス業務への転換となり、それがさらに貸し会議室業務と広がり、現在に至っております。現在は起業家・経営者向けに経営の心得を中心に経営実務も学べる「社長塾！」開講に向けて準備中。

- ・ 座右の銘は多々ありますが、あえて経営に必要なものとして、「敬愛と共育」を信条としています。

- 【著書など】
- ・ ポスト「万博・空港」を考える(中部経営情報化協会)
  - ・ やりたい仕事で幸せになる!(あさ出版)
  - ・ 輝く女性経営者50人(フジビジネスサンケイアイ)
  - ・ 煌めきの肖像(中部経済新聞社)

【インタビュー】

- ◆若干21歳で起業  
職歴をご覧になってもおわかりになるように、若干21歳に起業し、成功も挫折も味わった、若手女性経営者である。
- ◆無い尽くし  
お金があったわけでもない、人脈があったわけでもない、ないもの尽くしの中から、現在、社員数約30名の所帯をもつ、立派な企業へと成長させたそのストーリーは、起業家ならずとも、経営者なら一度は感じておいたほうがいいだろう。
- ◆教える視点  
遠藤さんは行政書士事務所からスタートしている経営者ですので、経営者に「教える」という視点を忘れずに講演をされるので、わかりやすいと好評。加えて、その実体験には説得力があり、まだ30代の前半とは思えない落ち着きぶりだ。
- ◆謙虚な気持ち  
今でも謙虚な気持ちで勉強をされる姿勢は、益々発展する企業になること間違いなし!そんな彼女の「若いころの講演」を聞いておくのも将来のネタになるでしょうね。起業家向けや女性経営者向けは当然のこと、中小企業の経営者向けにも納得度が高い講演になること間違いなし!である。
- ◆母として・・・  
驚くことに、まだ、小さなお子さんをもつ、母でもあります。すごいですね～。ホントに。

## 【頭脳。を分析】

